



Honjo Rotary Club weekly report

Rotary International District 2570 Group 4

No.50-7 第2392回 例会 2012年8月23日(木)
会員卓話

会長 橋本恒男 会長エレクト 矢島淳一
副会長 萩原達夫 中島高夫 五十嵐敦子 幹事 濵澤健司
2012~13年度国際ロータリー会長 田中作次
第2570地区ガバナー 鈴木秀憲

進行: S A A サブ 高橋祐介
ソング: それでこそロータリー

点鐘: 午後12時30分 橋本恒男 会長
童謡: 海

〔会長挨拶〕

橋本恒男 会長



皆様こんにちは。暑い日が続いますが、体調を崩さない様お気をつけ下さい。

今日もまたたくさんの会員に出席いただき、ありがとうございます。今日のお客様をご紹介いたします。

本庄南ロータリークラブの直前会長の長沼章さん。交換留学生の台湾からチャオ エンハンさん。そしてもう1人おなじみの米山奨学生のイ ヨンジュさん、以上三名です。ただいまテレビや新聞等で大変話題になっている領土問題ですが、毎年今頃の終戦記念日の近くになるとこの問題が話題となりますが、もう少し涼しくなれば自然となくなると思います。

日本のロータリアン 89,000人が日中韓の今の現状をどう思っているか分かりませんが、ロータリーはもっと高い位置での事を考えています。米山奨学生、交換留学生も胸を張って日本の修学を楽しんで下さい。修学が終了したら、日中韓の架け橋となって大いに活躍し、頑張って下さい。

今、高校野球の決勝戦ですが、青森の光星学園は選手の大半が関西出身で、高校野球の特待生制度を利用した選手だそうです。高校生のレベルアップには、この制度は必要不可欠な制度になっているそうです。

浦和学院がベスト8を前に敗れてしまいましたが、先発投手としてエースを温存した事が敗戦に繋がったと同様の記事が埼玉新聞と読売新聞に載っていました。

その時の調子を考え、監督が決定した方針ですが、外部の人が結果だけをみてアレコレ批評するのはよくない事だと思いますが、批判は免れないと思います。

本日は創立50周年を前にしてパスト会長卓話シリーズで金井澄雄会員に卓話をしていただきます。充分時間を取らたいと思います。

野球の事ばかりで申し訳ありませんが、段々ロータリーの事を勉強して会長の時間でお話していきたいと思います。この辺で会長の時間を終りにしたいと思います。今日も宜しくお願ひします。

〔幹事報告〕

濵澤健司 幹事



1.公益財団法人 米山梅吉記念館より秋季例祭のご案内がきております。

日時は平成24年9月15日土曜日14時から米山梅吉記念館ホールで行います。講師はアルピニストの渡辺玉枝氏です。

・米山梅吉記念館館報と贊助会員入会のご案内もきておりますので回覧いたします。

2.本庄市自治会連合会より「今昔郷土集」を刊行致しましたとご案内がけております。各自治会の神社仏閣や歴史などを各自治会1ページ、自治会長自身が掲載物を選び一冊の本にしました。タイトルは「今昔郷土集」価格は一冊1500円となっておりますので、受け付けにてお買い求めよろしくお願ひ致します。

3.こだま青年会議所より 4C 合同ゴルフコンペのご案内がきております。日時は 9 月 19 日水曜日、こだま神川カントリークラブで 8 時 40 分現地集合でスタートは 9 時 24 分となっております。

4.本庄市社会福祉協議会よりレツツボランティアのご案内が来ております。回覧いたします。

5.本庄市ボランティアグループ連絡会より平成 24 年度第二回例会の開催案内が来ております。

6.埼玉県北明るい社会づくりの会より東日本大震災南三陸町支援募金事業のご案内がきております。9 月 8 日の午後 1 時より商工会議所二階会議室で行います。オープニングの催しには「明社レンジャー」が出演いたします。

本庄南ロータリークラブ直前会長
長沼 章 様
交換留学生 洪巧恩 さん



〔卓話〕

金井澄雄パスト会長



卓話資料は別紙にて

〔御礼の言葉〕 高橋福八 パストガバナー

〔ニコニコ BOX 報告〕

橋本恒男

「本日も、お世話になります。」

橋本恒男 渋澤健司 加藤玄静 高橋福八 竹並栄一郎
内野昭八郎 春山茂之 岡崎正六 下山正男 中島高夫
萩原達夫 佐藤賀則 矢島淳一

「パスト会長、金井澄雄様。卓話宜しくお願ひ致します。」

金井澄雄

「今日は卓話をさせていただきます。卓話宜しくお願ひ致します。」

〔出席報告〕

次回プログラム発表

8 月 30 日 (木) PM6:30 ~ 第 4 例会 (夜間例会)

梅澤 茂 ガバナー補佐訪問例会

会員数	出席免除会員数	出席義務会員数	出席会員数	出席率
73名	5名	68名	48名	73%

広聴広報委員会 山田喜一・笠原 勝・福島正美・関口礼子

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30

事務所 埼玉グランドホテル本庄 700 号

〒367-0041 本庄市駅南 2-2-1

TEL 0495-22-7522 FAX 0495-22-3571

例会場 埼玉グランドホテル本庄

E メール honjorc@themis.ocn.ne.jp

ホームページ

<http://www.globals.jp/hp/HRotary/index.html>

金井澄雄パスト会長 卓話資料

橋本会長、渋澤幹事の年度になり始めて出席致しました。出席免除会員であります、2人にはお世話になっておりますので例会には出席したいと思っていましたが、本日が初めてとなり、誠に申し訳なく思います。

1981年に入会そして1991年に会長就任

当時は60数名の会員だったとおもいます。

会長を受けるにあたって、本庄 RI の内規により、会長資格は幹事経験者が最優先となっております。いろいろな事情で受け手がない時には入会年度順に会長候補を選ぶことになっています。その年は受ける方がおらず、入会順にて私の所まで順番が来てしまいました。私は、RI の経験が浅いので辞退を致しましたところ先輩の竹並さんと黒岩さんに奨められ、奮勇をふるって、会長を引き受けさせていただきました。

10年後 2001～2002度の第4グループのガバナ - 補佐

その当時の小池ガバナ - ノミニ - にガバナー補佐の指名権があり、5人のガバナー補佐が決定いたしました。其のうちの1人に第四グループガバナー2補佐として私が任命されました。私が任命された事は皆さん方も不思議に思うでしょうが、縁というものは色々な悪戯します。実は、埼玉県経済同友会の旅行で小池さん夫妻と出会い旅行中一緒にワイワイガヤガヤと楽しく旅行しました。旅行の際は知らなかったのですが、後日ロ - タリ - のガバナーノミニー選考会が所沢にて開催され、小池さんが選任され、とてつもない人だった事に気づきました。その旅行の時の出会いがきっかけでガバナ - 補佐を受けたのですが、多分小池さん本人ではなく奥さんの推薦だったように思います。



R I 会長ラジェンドラ・K・サーブ

提唱されたテーマは「Look Beyond your-self」という大変抽象的なテーマであり、日本語に訳すと「自分を超えた目」でした。

サーブ会長はメッセージの中で「一人のRotarianとして、あなたは夢見る人であると同時に、行動する人でなければなりません」と強調されておりました。

この時の第2570地区・森三郎ガバナーによるテーマは「自分を見つめて自分を超えた眼を」でした。単に「a member of a Rotary Club」であることから、「True Rotarian」になってくださいと、言う語りかけでした。私の会長としてのテーマは「みんなでやろうロータリー」でした。あまり、抽象的でなく解りやすいテーマにいたしました。

2001年～2年にガバナー補佐

I.Mはガバナー補佐が主催で開催する事になっている

そこで私なりの考えで開催会場を群馬県の富岡カントリークラブにて行う事を提案いたしました。しかし第4グループの会長・幹事さんに大反対を受け、本庄ロータリークラブの同級生仲間からも会場変更するように言われましたが、私は「人の言う事聞いて失敗したら悔いが残るが、自分なりに思考して失敗しても悔いは残らない」といった信念を持ち先ずは開催予定場所を見てくれと言う事で会長・幹事会を富岡カントリークラブで行い、会場を見て頂きました。企画を皆さんと一緒に考えさせていただきました。

さすが、12クラブの会長・幹事さんだけあって呑み込みも早く「金井補佐がどうしてもここでやりになるのであれば協力をせざるを得ない」と了解していただきました。

聞くところによりますとその後、各クラブの会長・幹事さんがクラブに持ち帰り、会員の皆様にご報告致したところ、今度は各クラブ会員から会長・幹事様がなぜ了解してきたのかと大変責められた様子でした。各クラブ会長・幹事さんにはご迷惑をかけるとともに本庄クラブの春山会長と高柳幹事には大分ご迷惑をお掛けました。

まず本庄ロータリークラブに於いては春山会長・高柳幹事様の説得により、富岡カントリークラブで行う事に決定しました。

本来ならば主催クラブの本庄ロータリークラブが中心となりもろもろの役を引き受けて責任をもって実行することでした。しかし、I.M実行委員長・副実行委員長その他もろもろの委員長さんの役を各12クラブの会長・幹事様にお願いしました。

私は開催クラブである本庄ロータリークラブの皆様方には縁の下の力持ちになって頂き、裏方をお手伝い頂き、お陰でI.Mを大成功させることができました。ここに、こころより御礼を申し上げます。



早朝よりご苦労様です。
腹ごしらえしてガンバれぞ。

女性参加も金井ガバナー補佐
の願いでした。



ラウンジで談笑する参加者たち。

懇親会の席上で金井ガバナー補佐より小池ガバナー
夫妻と前年度の荻野第4グループガバナー補佐夫妻
並びに齊藤第8グループガバナー補佐夫妻の紹介が
行われた。



懇親会で乾杯の挨拶を行う
高井補佐幹事。

小池ガバナーを囲んでの一コマ。



懇親会場風景。

懇親会風景。



高橋バストガバナーと
小山地区幹事夫妻。

フォーラムでの「その嘘ほんと」参加者並びに
コーディネーター金子千待バストガバナー及び
回答者の方々。



前年度第4グループ荻野ガバナー
補佐に感謝状の贈呈を行う。

前年度第8グループ齊藤ガバナー
補佐に感謝状の贈呈を行う。



紅葉美しい富岡ゴルフクラブの
コース風景。当日112名が
ゴルフと自然を満喫しました。

ゴルフコースの風景も見ながら
シンフォニーに耳を傾ける。



まさに自然の中でコンサートを聞いている
ようで、時間が止まったかのように心安らい
だひとときであった。

「人生プラス思考で」と題して行われ
た俳優黒沢年男氏の講演は巧みな口調で
聞手の心をつかんだ。



自分の生い立ちをもとに、ユーモアを交
えながらの講演はとても短い一時間であった。

式典会場風景。

元来のIMはインターナショナルミーティングであり12クラブの会員が一同に集まりお互いに友情を育む事が主とした目的であり決してロータリーの勉強会では有りません。

「親睦の場」づくりであるはずなのです。

私はこの、IMを「親睦の場」にする企画をたてました。従来にない型破りな新しい発想のIMを実行したわけです。

ゴルフ愛好者は、秋の紅葉を楽しみながらピストン方式にてプレーを楽しみました。其のお陰で12時半には一斉にプレーが完了する事が出来ました。

プレーを、たしなまない方々には、各グループが提案した黒沢先生の講演への参加・シンフォイニーの鑑賞等々それぞれ楽しいひと時を過されました。その後ゴルフ組と鑑賞組と合流し、IMを開催しました。

勉強会としてはパネルディスカッション。ロータリーの「その嘘ほんと！」という事で色々な用語をクイズにしてそれぞれの人々が白い帽子を被り間違えたら帽子をとり着席をする。最後まで帽子を被って頂いた方々10人をロータリーの博士号に認定いたしました。

ゴルフ終了と同時に豪雨となり誰一人濡れることなく無事終了した事は皆様の日頃の心がけの良さの賜物と思いました。お陰様で予想以上に各クラブ会長・幹事、参加者から、忘れる事の出来ないIMでしたとのお褒めの言葉を頂き感動いたしました。

職業奉仕と社会奉仕のちがい

時間が少々残りましたので職業奉仕についてお話をさせていただきます。

新しいメンバーの方が増え職業奉仕の意味が分かっていない方がいるように思います。職業奉仕はロータリーメンバーに仕事を出し、仕事を受けたメンバーが利益を得て、必要な経費等を差し引いて残ったお金をロータリー財団や米山記念奨学金などに寄付することを職業奉仕と言います。

例をあげれば、ある時、事故で列車が動かなくなり、停車していたため、空腹を訴える乗客が大勢出てきました。地元の製パン工場の方が、たまたまロータリーランでありパンを販売致しました。その売り上げの内利益や経費等を引き残ったお金を奉仕活動に使う。ただで乗客に差し上げればそれは職業奉仕でなく社会奉仕になります。

本来はロータリーの会員は1業種1人と定められておりましたので、職業奉仕がロータリーランの仲間同士が行う事が容易かったのです。しかし、最近の定款細則によると1クラブ同業種10社までと規定が変わり本来の職業奉仕が主体のロータリー活動が失われつつある事を寂しく感じているのは私ばかりではないのでしょうか。

最後にロータリー活動を通じて多くの知人・友人ができ、人生がより豊かになりました。有難うございました。